

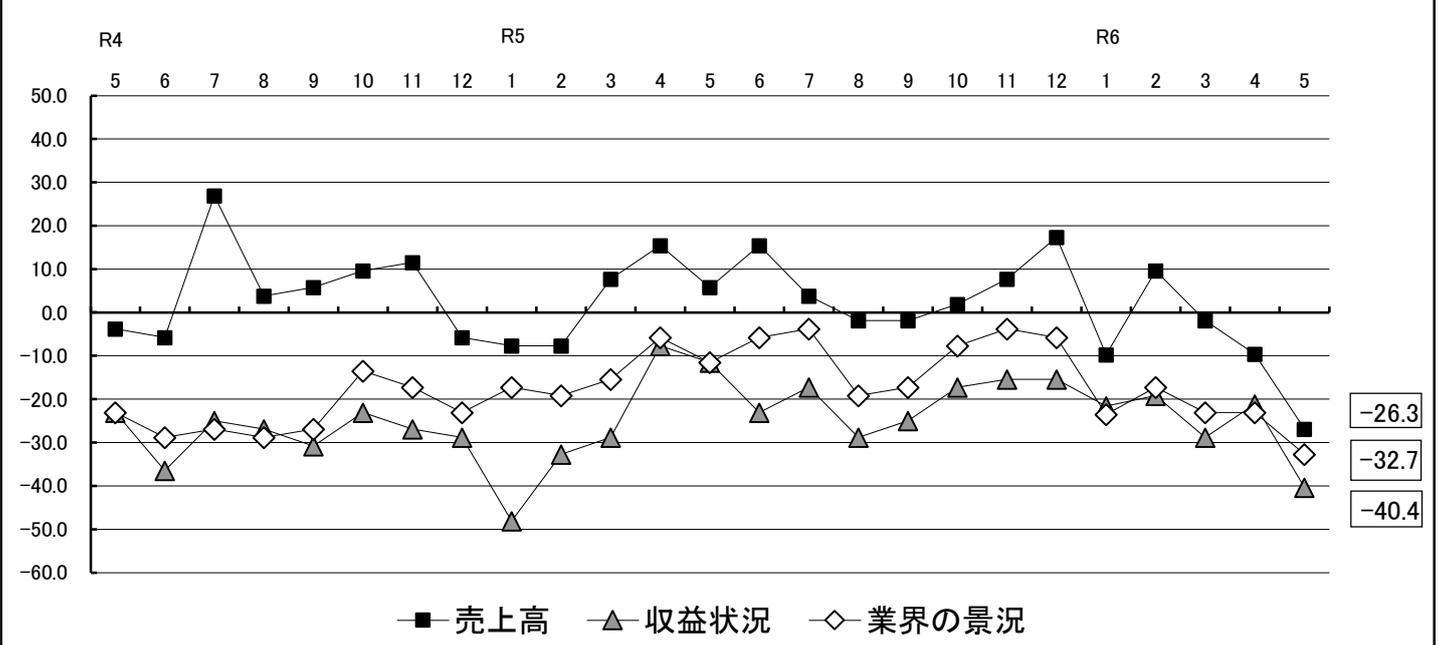
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和6年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標、「売上高」、「収益状況」、「業界の景況」すべて大幅な低下となった。
- 5月の連休中は、県内各地でインバウンド等の本格化により観光客が増加したが、全体的に景況感は低迷している。また、母の日需要に伴い一部の小売業では好調に推移したものの、連休後からは消費動向が鈍り、ほぼすべての業種において売上の確保に苦戦している状況にある。
- 消費の停滞のほか、原材料価格の高止まりや人件費の高騰が収益状況に大きな影響を与えている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-26.3	-17.3	-8.1	-3.5
収益状況	-40.4	-19.2	-24.4	-3.7
業界の景況	-32.7	-9.6	-24.7	-1.4

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より17.3ポイント低下し-26.3ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント低下し、-8.1ポイントとなった。

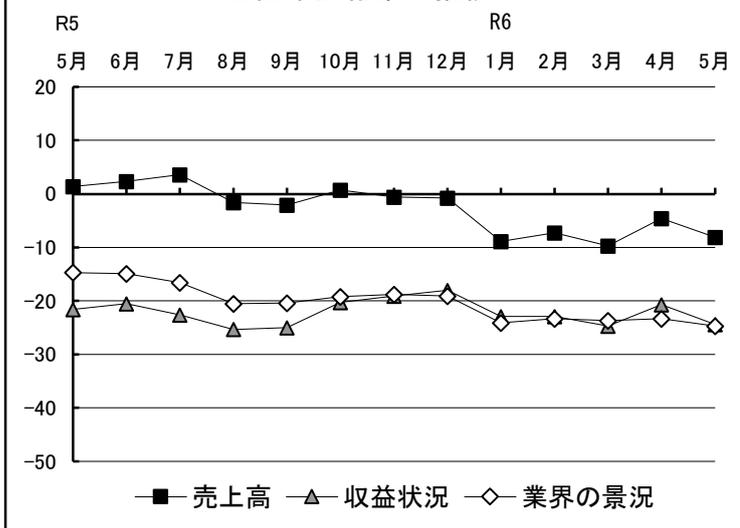
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より19.2ポイント低下し-40.4ポイントとなった。全国においては、前月より3.7ポイント低下し、-24.4ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より9.6ポイント低下し-32.7ポイントであった。全国においては、前月より1.4ポイント低下し、-24.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

5月の前年同月比DI値は、図表2のとおり前月と比べ9指標すべてが低下した。主要3指標では「売上高」は17.3ポイント低下、「収益状況」は19.2ポイント低下、「業界の景況」は9.6ポイント低下した。

製造業のうち「食料品」においては、消費動向低迷に加え光熱費や人件費の高騰に伴う商品値上げにより、売上及び利益額の減少が見受けられる。また、「鉄鋼・金属」においても原材料及び諸経費のコスト上昇による収益悪化に伴い景況感が低下している。

非製造業では、「運輸業」において指標の落ち込みが大きい。他の業種での買い控えが進んだ影響を受け、ゴールデンウィークから少しずつ荷物の受注が減っている状態である。燃料価格及び物価高騰の影響もあり、収益や景況感は依然として改善されない状況にある。

なお、ゴールデンウィーク・イベント等の需要増加により一部の業種では収益が伸びたものの、製造業及び非製造業ともに、原材料価格及び人件費等の高騰に加え消費者の買い控えにより、収益の確保に苦戦している状況である。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-25.0	50.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-75.0	-50.0	-25.0	-25.0	-75.0	0.0	-50.0	0.0	-75.0
印刷	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0
窯業・土石	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-100.0	-25.0	0.0	-50.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	0.0	50.0	50.0	-25.0	-25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
製造業	-24.0	-8.0	24.0	-16.0	-32.0	-8.0	-8.0	-4.0	-28.0
卸売業	0.0	0.0	33.3	0.0	-66.7	-33.3		-33.3	0.0
小売業	-57.1	14.3	14.3	-14.3	-57.1	-28.6		14.3	-42.9
サービス業	-33.3		16.7	-16.7	-16.7	-16.7		0.0	-16.7
建設業	0.0		20.0	-20.0	-60.0	-20.0		-60.0	-60.0
運輸業	-50.0		-25.0	25.0	-75.0	-25.0		25.0	-75.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-29.6	10.0	11.1	-7.4	-48.1	-22.2		-7.4	-37.0
全体	-26.9	-2.9	17.3	-11.5	-40.4	-15.4	-8.0	-5.8	-32.7

図表2 【指標別DI値の推移】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年	2月	3月	4月	5月	前月比
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売上高	5.8	15.4	3.8	-1.9	-1.9	1.9	7.7	17.3	-9.8	9.6	-1.9	-9.6	-26.9	-17.3
在庫数量	0.0	-8.6	-11.4	-11.4	2.9	-17.1	-17.1	-14.3	-5.9	-8.6	-8.6	-14.3	-2.9	11.4
販売価格	36.5	34.6	30.8	19.2	23.1	26.9	26.9	25.0	27.5	23.1	25.0	19.2	17.3	-1.9
取引条件	-7.7	-13.5	-15.4	-11.5	-11.5	-3.8	-3.8	-1.9	-5.9	-7.7	-5.8	-7.7	-11.5	-3.8
収益状況	-11.5	-23.1	-17.3	-28.8	-25.0	-17.3	-15.4	-15.4	21.6	-19.2	-28.8	-21.2	-40.4	-19.2
資金繰り	-11.5	-15.4	-11.5	-13.5	-11.5	-3.8	-1.9	-5.8	-7.8	-5.8	-7.7	-9.6	-15.4	-5.8
設備操業度	-0.0	8.0	12.0	-20.0	0.0	12.0	-16.0	-8.0	-12.0	-4.0	-16.0	4.0	-8.0	-12.0
雇用人員	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	0.0	0.0	-3.8	-3.9	-5.8	-11.5	0.0	-5.8	-5.8
業界の景況	-11.5	-5.8	-3.8	-19.2	-17.3	-7.7	-3.8	-5.8	-23.5	-17.3	-23.1	-23.1	-32.7	-9.6

特記事項

情報連絡員報告（令和6年5月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	和洋菓子製造業	5月も連休後の消費動向が低下している。ここきて、光熱費及び人件費等の高騰の影響が大きい。
	めん類製造業	県内も都市部と地方及び観光地で、人出と売上の内容に違いがある。県内の田舎や観光地では、外国人や若者が目立つが人出の割には売上が上がらない。アッパー層の人出が少なく売上が伸びない。飲食店では値上げしたことで、客離れを起し売上の減少につながっているとのこと。また、春に賃上げをした企業と、秋の最低賃金引上げ時に賃上げを考えている企業がいる。賃上げによる自社の経営への圧迫を心配している企業が多い。
繊維工業	縫製業	受注数量の安定により売上高は昨年同月に比べ増加した。収益に関しては、加工料のUPがない為不変になっている。業界の問題でもあるが、景況が悪い状態が続き、販売価格のUPが望めない為、加工料のUPが難しい状況。
	染色繊維業	一部企業で売上高の増加があった。全体的には好転が見込める。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	GWが明けてから、アパレル関係はより一層動きが鈍くなった。一部の定番商品は動いているが、全体的には過去最悪の業績と嘆く業者が多い。今シーズンは諦めて来春の企画に狙いを定めている事業所もあり、各社とも緊張感が高まっている。
木材・木製品	一般製材業	戸建住宅の需要低下が深刻であり、同左事項に相関して、プレカット稼働率も前月同様低下している。
	家具・建具製造業	材料高・人件費高に加え、住宅着工戸数減少の影響により、厳しい業況が続いている。
	建具製造業	木造住宅の新築数が減少している。又、自動車メーカー向け梱包出荷も前年割れしている。
印刷	印刷業	例年、連休明けの需要減退期だが本年はさらに悪い。一部用紙で再値上げの動きも出ているが人件費等も含め、価格転嫁が課題となっている。
窯業・土石製品	石灰製造業	鉄鋼向け及び肥料関係は、昨年に比べ減少した。建材関係は、昨年に比べ増加した。全体では、昨年に比べ減少した。
	陶磁器・同関連製品製造業	陶器市の売上は、店舗ごとに様々だった。組合の売上は減少した。陶器市の新しい試みで、駐車場の空き情報をリアルタイムでお客様にお知らせしたことで、会場内の渋滞が緩和された。他産地からの仕入れ値が上がっており、それに伴い運賃の上昇も大きな負担になる。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	組合各社、GW連休明けから業況が悪化傾向にあるとの報告。鋼材、工具鋼など、更に値上げ幅が大きく価格転嫁が追いつかない。金型関連では、見積もりで価格を上げてみただけで見積もり時間のロスがある。金型関連の取引先が5月末で倒産。連休明けから風邪（新型コロナウイルスなど）の感染が増加傾向にある。県内中小企業は昇給や賃上げはできているのか？と問い合わせが多い。
	金属製品製造業	原材料の値上がり止まらず苦しい。
	金属製品製造業	家電の冷蔵庫、エアコンが昨年より減少した。
	金属製品製造業	主な問題点は、仕入価格の上昇、売上の減少及び人材不足。
一般機器	一般機械器具製造業	売上高減少及び収益状況が少々悪化という組合員企業が出ているが、不変とする企業もほぼ同数であった。円安による仕入れ資材や諸経費等の上昇や賃金UP等の対応など、今回も経営基盤の懸念ありとの報告がされた。あくまでも企業間格差がある。業界としては不変であるとの報告がされている。
	一般機械器具製造業	例年5月は稼働日が少ないためかなり落ち込むが、本年はそれほどの落ち込みがなく中々の月となった。ダイハツ・豊田自動織機の不正発覚以来3月まで落ち込んでいた分を取り戻すため少々活況に触れたのではないかと考えている。
卸売業	化粧品卸売業	運賃、ガソリン代及び光熱費の上昇が少しずつ収益に影響を及ぼしている。
	各種商品卸売業	前月同様販売価格は上昇とする企業が多く、業況等は前年同期に比べ好転とする企業が多い。他は不変とする企業が多かった。
	各種商品卸売業	業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。荷動きはあまり良くない。燃料価格は、高止まりが続いており、物価高騰と相まって収益を圧迫している。従業員の人員確保が難しい(募集をかけても集まりにくい)。賃金UPについても対応していく中で原資の確保など課題も多い。

小売業	食肉小売業	5月の連休は、行楽客の購買意欲が低く節約型が多く売上が上がらない状況。食肉の国外の手当状況は、中国・韓国に買い負けしており国内在庫の供給の為、仕入価格が部分的に30%UPしている。
	その他の小売業	気温上昇におけるガス使用量の減少に伴い、売上高減少の時期の真ただ中である。また、コロナ禍明けにより連休の多い5月については、外出の機会も多く一般需要家のガス使用量は減少傾向にある。そのため売上減少はやむを得ない状況。
	各種商品小売業	依然として景気の回復は、見られない5月期の景気。僅かだが5月の連休で飲食店関係は潤ったが、原材料の価格の上昇もあって苦戦している。利益15%減とのこと。地方では、一般小売業は低迷が続いている。小売価格の値上げ等により、20%弱の減少、益々厳しさを感じている。
	各種商品小売業	GWの客数が年々減少傾向にある流れは変わらず、残念ながら閑散とした連休であった。しかし、母の日需要は好調に推移し、2週目に何とか盛り返すことが出来た。改めて、目的買いの顧客の重要性を痛感した。
	花・植木小売業	母の日商戦が終わった。例年並みの売り上げ。中心商品であったカーネーション（切り花）相場が安定していた。国産カーネーションの出荷量の安定と顧客、花屋のカーネーション離れが（別花材に移行）影響しているのか。鉢物はカーネーションとアジサイなどの寄せ植えが売れた。
サービス業	理容業	全国理容連合会では、組合員でなく2代目後継者や従業員の声に取組むべく、ジュニアパートナー制度の移行が始まった。後継者不足問題が少しでも解決に向かうことを期待している。
	自動車整備業	法人リース車両の入庫台数増加により売上高が増加したことで、やや収益も好転した。
	旅館・ホテル	5月も宿泊は比較的高稼働で推移したがコロナ前とは月ごとの傾向が違ってきているように感じる。宴会は新型コロナウイルス宿泊療養施設後の原状復帰作業中により100%減少。飲食店はコロナ前と売上トレンドの傾向が変わってきているように感じる。週末は戻ってきた感じがある。時期的に総会等のご利用も増えてきた。
	ビルメンテナンス業	個人宅配関連の倉庫内作業の受注が減少し、収益もやや悪化している。
	給食センター	地方においては賃上げが物価上昇に追いついておらず、消費者マインドが悪く節約志向が産業弁当に向いており、値上げをしづらい点がある。
建設業	職別工事業	売上状況においては、今月堅調に推移したものの依然材料費等の値上げにより収益が圧迫。若年層の労働力不足が課題。
運輸業	貨物自動車運送業	食品原材料の入出荷は、多い時と比べてかなり減っているようで、価格の高騰と全国的に人口が減少していることが原因かもしれない。鋼材関係でも、生産減が影響している中での自動車メーカーの認証不正が再度報告されたことにより輸送量の減少が考えられる。
	貨物軽自動車運送業	GW後から少しずつ受注が減っている。ほぼすべての業界で動きが鈍くなっている感じがある。ある程度は我慢できるが長期化は厳しい状況になってくる。
	一般乗用旅客自動車運送業	GW中は宿泊及び日帰りの旅行者で夕方から深夜の時間帯の宇都宮市中心部しか把握できないが、相変わらず各餃子屋には行列が出来ていた。
その他の非製造業	大谷石採石業	GW中の人出は、かなり多かったようだ。